

本紙編集部が
勝手に選んだ...

今年の流行語ではありませんが、本紙で何回か用いたこの言葉通りに文化部の活躍著しい2015年でした

2015 三高の語

地味ではありません！地道なんです！ 三高文化部は輝いています！

部活動だけでは
ありませんヨ

三高文化活動が輝きを放った2015年

今年も 大変お世話になりました
来る年が 皆様にとって実り多い年でありませう
お祈り申し上げます

三刀屋高校教職員一同



写真

第43回島根県高校写真展

祝

小池さん(2年)が全国高総文祭出場へ

1、2年生の部 第5席

『夢追い』 小池ななみ(2年) 平成28年度全国高等学校総合文化祭への出品決定

第43回島根県高校写真展には県内29校から304点
が寄せられ、1、2年の部
で本校写真部の小池ななみ
さん(2年)のデジタル・
カラー作品『夢追い』が第
5席に入り、来年夏に広島
県で開催される全国高等学
校総合文化祭写真部門大会
への出品資格を得た。
同写真展は、春と秋の年
2回のコンクールで特選と
なった作品の中から出品さ
れるが、小池さんの入賞作
品は本校を会場に開催され
た秋のコンクールで審査員
から絶賛され、今回も上位

祝

門脇さん(2年)も 全国高総文祭出場へ

美術

第48回島根県高校美術展

島根県読書感想文コンクール

優良賞 多賀日奈さん(1年)

「出会いから生まれるもの」

〔対象図書〕「希望の海へ」マイケル・モーバーゴ著

2面に関連
記事あり

大学入試
センター試験まで
あと25日

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

つながる声

今年のは下半期は、日本の宇宙開発の躍進ぶりを伝える朗報が次々と伝えられたが、ここでは古典的な話題を一つ取り上げる。宇宙から地球を見た時、唯一見える人工建造物が何かご存じだろうか。中国の万里の長城らしい。この事を初めて聞いた時には意外な感じだったが、例えば巨大なピラミッドでさえも、宇宙からは肉眼で見えないちっぽけな点でしかないということだ。万里の長城が宇宙から見えるのは、「つながる線」として存在を伝えていいるからだろう。小さくとも、つながることで存在感を大きくできることを、私たちは社会のいたるところで知っている。東日本大震災による原発事故後の首相官邸周辺では、原発の再稼働に反対する週末金曜日のデモが次第に参加者を増やして注目された。また、今年の秋にかけては安保法制反対を掲げたデモも多くみられた。共通するのは、動員されて増えてきたわけではないことだ。組織で動員されて参加するのではなく、個人として参加し訴えるデモは、これまでの日本には少なかった。「反対するだけで代替案を持っていない」「お祭りのだ」と冷めた視線を投げかける評論も無くはないが、個々の声と存在がつながりをもって大きなうねりとなつた感がある。「参加することで、自分の考えをより確認することができた」との声も聞かれる。デモに参加せずとも、一市民としての自分の考えを持つことの大切さを感じた人も多いのではないだろうか。拡声器で大きくするのはなく、つながることで声を大きくできれば、真に社会を動かす力が生まれるに違いない。ここ雲南の地域づくりにおいても、いたる所で若者を含めた市民のつながる声になるうとしていいる。つながる若者会議(6面参照)も頼もしい存在だ。(編集長記)

入賞が期待されていた。高校写真展の益田会場(グラントワ)での展示は今月すでに終了したが、来年2月3日から8日まで、松江市の県立美術館でも展示される(入場無料)。その他の入賞作品(奨励賞、本校関係分)板持乃野可(2年)『往年』小池ななみ(2年)『眼差し』

今号の記事は12月13日分まで



2015三高文化活動の振り返り

- 6月 美術部：森脇咲子さん(3年) 第16回高校生国際美術展 佳作
- 7月 放送部：藤原香玲羅さん(3年) NHK杯放送コンテスト(東京)出場
- 8月 書道部：妹尾有真さん(2年) 全国高総文祭滋賀大会出場
- 9月 永井隆平和賞：内藤舞さん(2年) 佳作
- 10月 美術部：高野寛子さん(2年) 来年度インターハイボート競技ポスター図案最優秀賞
- 美術部：森脇咲子さん(3年) 二紀展彫刻の部入選
- 文芸部：伊藤華恵さん(1年) 中国文芸道場詩部門 佳作
- 書道部：黒目麻友さん(2年) 来年度の全国高総文祭出場権獲得
- 11月 JRC：第6回赤十字救急法競技大会 三角巾包帯法の部第2位 UNNANT'バート選手権 第1位(3年)
- 12月 写真部：小池ななみさん(2年) 来年度の全国高総文祭出場権獲得
- 美術部：門脇宥紀菜さん(2年) 来年度の全国高総文祭出場権獲得
- 島根県読書感想文コンクール 多賀日奈さん(1年) 優良賞

社会体育で少林寺拳法を続ける門脇宥紀菜さん(2年)が、競技連盟の推薦を受けて来年3月に香川県で開催される全国高等学校選抜大会への2年連続出場権を獲得した。今夏のインターハイに続く全国大会での健闘を祈る。

少林寺拳法(社会体育)

全国選抜大会

今夏の全国選抜大会への2年連続出場権を獲得した。今夏のインターハイに続く全国大会での健闘を祈る。



今夏の全国選抜大会への2年連続出場権を獲得した。今夏のインターハイに続く全国大会での健闘を祈る。

文武両道 門脇さん(2年)二つの全国大会へ

県内高校美術部による年間最大の美術展が12月、松江市の県立美術館ギャラリーで開催され、工芸の部に出品した門脇宥紀菜さん(2年)の

作品「夢見るウサギ」(写真)が、来年度に広島県で開催される全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門大会への出品推薦作品に選ばれた。同展には県内38校から絵画、

デザイン・映像、彫刻、工芸の部に627点が応募され、このうち451点が入賞・展示されて来館者の目を楽しました。本校からは美術部員の入選作品計29点が並んだ。

この美術展での展示作品はすべて「入選」作品であり、それ以外の賞はありませんが、1、2年生の作品の中から次年度の全国高等学校総合文化祭への出品推薦作品が決定されます(絵画5点、立体デザイン2点)。



自宅で飼っている亀を観察しながら、丁寧に写真的に仕上げた。ウサギの背中部分を取り外して小物入れになる。

2016全国切符続々

2016全国切符続々

- 3月 全国高等学校選抜大会へ 男子ソフトボール部 (選手氏名は3月号で)
- 女子ソフトボール部
- 少林寺拳法 門脇宥紀菜
- 7月 全国高等学校総合文化祭へ 書道部 黒目麻友
- 写真部 小池ななみ
- 美術部 門脇宥紀菜



料金：お金では買えません

ソフトボール

中国高校新人大会

【男子】(11/14、鳥取市) 1回戦 三刀屋1 徳山(山口県)

【女子】(11/14、鳥取県岩美町) 1回戦 三刀屋1 中村女子

6回表降雨コート (山口県1位)

男子は3回までノースコアの緊迫した展開だったが、守りのミスから先制を許したのが痛かった。一方女子は、毎回四球でラ

バレーボール

県高校選手権

(11/13、14、情報科学高校) 【女子】 初戦突破

ソナーを背負いながらも野手が良く守り、ほぼノーエラーで守り切ったのが収穫だった。打っては3本の3塁打をはじめ相手打線を上回る安打で奮起したが、最後は雨にたたられて悔しさの残る展開となった。すでに出場権を獲得している3月の全国選抜大会で一勝を期待したい。

バスケットボール

1回戦 三刀屋 0 島根中央
2回戦 三刀屋 0 松江北

出雲地区新人大会

(12/12、出雲高校)

1月の県新人戦のシード権を争う地区大会。男子は決勝進出ならずシード権の獲得はならなかった。

【男子】 三刀屋(63) 51大社

美術

第48回島根県高校美術展

卓球

三刀屋34 (95) 出雲北陵
3位決定戦 三刀屋62 (74) 出雲工業
第4位 三刀屋43 (64) 出雲

県高校新人戦

(11/13、15、県立体育館) 大半が高校から競技を始めた部員で、この時期の対戦ではまだまだ力不足は否めないが、男子が団体予選リーグで

1勝、女子個人の飯國愛菜さん(1年)が2年生を相手に勝利するなど、来年につながる結果を得た。 【男子団体】 1次予選 三刀屋 2安来 三刀屋 0 平田 【女子団体】 1次予選 三刀屋 0 松江商業 三刀屋 0 飯南 三刀屋 0 【個人】 男女ともに3回戦 進出ならず

錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

深野川沿いの田井発電所(雲南市吉田町田井)。雲南市に貴重な財産でもある。このよな小水力発電所が奥出雲町上阿井に間もなく復活する。



斐伊川とその支流には島根県、中国電力、百キロワットの小水力発電所が

市町、JACが経営するいくつかの水力発電所がある。下段に紹介する奥出雲町の三成発電所は、斐伊川上流約2kmの三成ダムを利用して昭和28年に運転を開始し、斐伊川本流では唯一の県営発電所である。このような比較的規模の大きい水力発電所に対して、全国的に出力百キロワット程度の小水力発電所が見直されつつある。冒頭の短歌で紹介した上阿井発電所は昭和29年に誕生し、やがてその役目をいったん終え、発電所の痕跡もほとんど消え去っていたが、復活に係る予算が付き、現在工事中のことだ。

60年近くも稼働している。一般家庭50軒分以上の電力を生んで雲南市に利益をもたらす田井発電所だ(写真上)。斐伊川とその支流から様々な形で恩恵を受けてきた雲南圏。神話、たたら、棚田と仁多米、奥出雲和牛等々、斐伊川の流れと無縁なものはない。これらをコラボさせる接着剤の役割が観光の視点だろう。今回紹介した小水力発電所も斐伊川水系の渓谷美とあわせて観光資源にすることもできる。取材で前述の発電所建設工事がすすむ奥出雲町上阿井には、全国五指に入る水路のサイフォンがあることも知った。一般市民が知らないふさふさの顔が、まだまだ眠ったままになってはいないだろうか。もったいない。

昭和28年10月に運転開始した島根県で最初の県営発電所です。この発電所は、上流約2.3kmの地点に建設された三成ダム(国土交通省直轄砂防堰堤を増補したもの)の常時満水位からの最大有効落差58.76mを利用して、最大使用水量0.063m³/s、最大出力13.880kW、年間発電電力量約1.88万kWhの発電をしています。(以上の写真、記事ともに、主管する島根県企業局のHPより転載させて頂きました) なお、三成ダムはアーチダムと呼ばれる構造をしています。アーチダムと言えは黒部の太陽で有名な黒四ダムが有名ですが、三成ダムは黒四ダムより10年早い日本で最初のアーチダムです。今年、土木学会選奨の土木遺産に認定されました。

今年度、土木学会選奨土木遺産に認定された三成ダム(奥出雲町) 日本初のアーチ式コンクリートダム



ダムマニア脚光の三成ダム



三成ダムと三成発電所

「父勤めし小さな村の発電所半世紀過ぎ今甦る」

11月10日付け「山陰中央新報」山陰文芸のコーナーで、夫さん(71)の右の短歌が目にとまっ。歌評については当日の新聞紙上を参照していただくとして、この歌に登場する「甦る発電所」とはどこかご本人に電話で確認し、奥出雲町の上阿井発電所であることが分かった。

斐伊川今昔物語 第17回

斐伊川のダムと発電所 資源としての川

市町、JACが経営するいくつかの水力発電所がある。下段に紹介する奥出雲町の三成発電所は、斐伊川上流約2kmの三成ダムを利用して昭和28年に運転を開始し、斐伊川本流では唯一の県営発電所である。このような比較的規模の大きい水力発電所に対して、全国的に出力百キロワット程度の小水力発電所が見直されつつある。冒頭の短歌で紹介した上阿井発電所は昭和29年に誕生し、やがてその役目をいったん終え、発電所の痕跡もほとんど消え去っていたが、復活に係る予算が付き、現在工事中のことだ。

60年近くも稼働している。一般家庭50軒分以上の電力を生んで雲南市に利益をもたらす田井発電所だ(写真上)。斐伊川とその支流から様々な形で恩恵を受けてきた雲南圏。神話、たたら、棚田と仁多米、奥出雲和牛等々、斐伊川の流れと無縁なものはない。これらをコラボさせる接着剤の役割が観光の視点だろう。今回紹介した小水力発電所も斐伊川水系の渓谷美とあわせて観光資源にすることもできる。取材で前述の発電所建設工事がすすむ奥出雲町上阿井には、全国五指に入る水路のサイフォンがあることも知った。一般市民が知らないふさふさの顔が、まだまだ眠ったままになってはいないだろうか。もったいない。

JRC



第6回赤十字救急法競技大会

(11/15、島根県立武道館)



健闘の第2位(三角巾包帯法の部)

いざという時の助けに!

11月15日(日)、島根県立武道館で開催された「第6回赤十字救急法競技大会」に出場し、本校JRC部は三角巾包帯法の部で2位入賞を果たした。

大会は、心肺蘇生の部と三角巾包帯法の部の2種目をトナメント方式で実施。自治会や企業、中学生、高校生など幅広い分野や年代の方が25チー

△集い、心肺蘇生の部と三角巾包帯法の部にそれぞれ18チームが参加した。
【三角巾包帯法の部】
優勝・島根大学法文学部 教職員チーム
2位・三刀屋高校JRC
3位・松江日赤クリニック
松江赤十字病院職員
【心肺蘇生の部】
優勝・島根大学法文学部 教職員チーム

演劇

アクティブに活動(4話)

島根県高校演劇県大会で好評を得た『Takashi』を、11月9日(月)にはJRC木次駅 覧いただいた。また、12月3

連携

しまねりハビリテーション学院から来校



期末試験最終日となった12月1日の午後、奥出雲町の島根りハビリテーション学院の学生が実習を兼ねて来校し、男子ソフトボール部と女子バレーボール部を対象に、スポーツ障がいを防ぐための講義と身体能力測定を実施してもらった。

日のFMいずものラジオ番組「ルーラル雲南」では、事前の取材収録により演劇部が出演し、「日頃の活動や『Takashi』上演に当たったの苦労話や思いを語った。さらに12月16日には「365日公演」の一環として、チェリヴァホール1階ロビーでリーディング公演(朗読劇)にも挑戦。「注文の多い料理店」「夢十夜」を語り披露した。12月13日には、高文連演劇専門部が主催した松江市での講習会にも参加。多忙かつ充実した活動を展開する演劇部を、今後も応援したい。

「志望理由書」講演会(2年)

<講師> 石橋 知也 氏
(キッズコーポレーション)

将来の目標を見据える「志望理由書」書きを練習しました



講演の前半では、「外から見た印象」と「これからやりたいこと」の2つの視点で、大学案内等から志望理由を見つける方法、高校で様々な体験を通して志望理由書に書く材料を作っていくこと、

なぜ、2年次に?

進路目標・受験先が決定してから

志望理由書を書くのが他校の通常の姿だるうが、キャリア教育を推し進める総合学科の本校では、2年次に志望理由書の書き方を学び、その練習を通じて、将来への心構えや目標を持つことの大切さを実感するようにしている。なぜその学校や職場を選ぶのか、将来何がしたいのかを自問自答する場面であり、自分の意志を再確認、より目標を鮮明にできることを期待している。付随して、小論文の書き方や面接での自己表現の仕方学ぶ機会ともなっている。



発表・質疑応答も堂々たる学年発表会でした

地域産業研究

実習(10月事業所インターンシップ)を経て

研究成果を発表しました(1年)

来賓・社会人のほか中学生からも質疑



12月9日の午後、1年生は総合学科の科目「産業社会と人間」の時間を利用して、「地域産業研究」学年発表会を開催した。NPO法人カタリバ、雲南市役所、雲南市立病院から来賓をお招きしたほか、雲南市立加茂中学校3年生22名、近隣の学校関係者、保護者の皆様が見守る中、事前のクラ

ス発表会を経て選出された計15名がパワーポイントを用いて発表した。

6月の職業人講演会も参考に、興味関心を持った雲南市の産業・職種について課題を探り、その解決策「地域を元気にするアイデア」を考え、10月の実習(事業所インターンシップ)でのインタビュー

や調査を通じ、自分のアイデア・提言について検証を行った。今回の発表は、一連の研究成果を整理したもの。発表会ではアイデアの実現にむけた取り組みについて、本校生だけでなく中学生や来賓の方からも質問や意見が出され、有意義な時間となった。

募集します

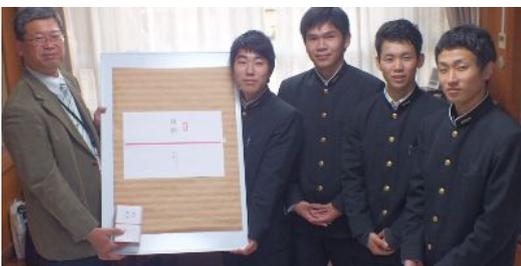
本紙編集サポーター(生徒)
取材、執筆、編集活動を通じて表現力アップ!編集長が懇切丁寧に指導します。



UNNANディベート選手権

高校の部(1チーム4名)

第1位 三刀屋高校(3年)



11/26、校長室で雲南市教育委員会の高野正次統括監から副賞を受け取る参加者4名

前号で速報したUNNANディベート選手権第1位の副賞として、ホワイトボードを寄贈いただいた。雲南市教育委員会が主催し、11月14日に初めて開催されたこのディベート大会の論題は「日本は18歳以上の国民に選挙権・被選挙権を認めるべきである。是非か」。本校の3年生4人のチームは否定の立論・質疑・反論を行い、2連勝して第1位となった。

島根県立大学出雲キャンパスでは循環器の疾病、心臓の位置や脈の取り方、心音についての講義「ヘルスアセスメント」を聴講



アカデミックな雰囲気に憧れます!

2年生

全員が二つの大学に分かれて

学びのモチベーションを高める「学習することが高校生にできる地域貢献です」

アカデミック・インターンシップ

2年生全員を対象にした「アカデミックインターンシップ」を11月17日に実施した。多くの生徒は島根大学松江キャンパスを訪問し、大学概要説明を受けた後、実際の授業を参観し、学部の施設を見学した。

一方、医療系志望者は午前中、島根県立大学出雲キャンパスで循環器の疾病、心臓の位置や脈の取り方、心音についての実際の講義「ヘルスアセスメント」を見学した(写真)。三高の授業の倍の90分の講義をメモをとりながら真剣に聞き入り、「上腕二頭筋と上腕三頭筋の間で脈を取る

方法」を説明された場面では、実際に脈を取る三高生の姿も見られた。午後の島根大学医学部医学科では地域医療の定義と、医



島根大学 島根県立大学

島根大学医学部医学科での深い言葉!

11/16 (代休日)

PTAキャンパスツアー

平日の素顔のキャンパスを体感

代休日となった11月16日(月)、生徒11名と保護者10名の参加を得て今年もPTAキャンパスツアーが実施された。休日開催が多い各大学でのオープンキャンパスと異なり、平日の大学訪問とあつて、参加者からは、素顔のキャンパス生活を体感できて良かったと好評だった。下の写真は、

岡山大学内で外国語のみ許されるという場所での「コマ」保護者の感想
・三刀屋高校卒業生さんたちの言葉の端々に受験をやりたい満足感を感じました。今の受験生も卒業生に続いて欲しいものです。
・大学生との意見交換はとても参考になりました。

岡山大・川崎医療福祉大の二校を訪問

大学・上級学校から刺激を受けました。学びのモチベーションアップ!

・短い時間でしたが、国立・私立のそれぞれの良さがわかりました。受験生は休日日本当に10時間も勉強するんですね。生徒の感想
・進路選択について参考になることがとてもあった。特に学生の話が聞けたのが良かったです。
・パンフレットでは分からない事が分かって良かった。



パソコン同好会

3回連続で島根大学へ

理工特別塾に参加

パソコン同好会の3名(1年)と2年生1名が、10月から島根大学松江キャンパスで行われている理工特別塾に連続参加している。

3回目となった12月5日(土)は、「ソフトウェアの作り方」「ユーザインタフェースの設計」と「超伝導の基礎と応用」の2本立ての講義を受けた。ソフトウェアの作り方では、福祉分野での利用を目的に開発したスマートの話とユーザ・インタフェースの設計を体験した。超伝導の話はパソコンとは関係がなく、1年生には難しい内容だったが、イスナー・オクセンフェルト効果の詳しい説明と高温超伝導の研究の魅力を聞くことができた。

進路ガイダンス

11月27日の午後には、2年生対象の進路ガイダンスを実施した。近隣の大学・専門学校20校の関係者が来校し、大講義室をメイン会場に、生徒の希望者83名と保護者2名が各校のブースに分かれて説明に聞き入り、同時に講師を招いての進路講演会も行った。





三高新時代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校
(平成25~27年度、県教委指定)

シリーズ

地域とともに

第16回 発表&活動の場をご提供いただき、ありがとうございます

文化部の活躍が光った2015年でしたが、コンクールやコンテストの成績は、活動の一部を象徴するもので、賞とは無縁のすそ野の広い活動でも輝きを放っています。地域の中での発表の場をご提供いただきながら、地域に元氣と感動のおすそ分けをする。三高文化部を応援ください。



三高生も参加！
早くも
桜まつりに向け



写真提供 / チェリヴァホール(キラキラ雲南)

この熱気！が雲南の春を呼ぶ



12月15日 プレ会議(事前説明会)
12月6日 第1回会合

「うんなん若者会議」始動

雲南市の若手社会人&学生・高校生が地域を熱く語り合い行動していることをご存知ですか？

11月の事前説明会に続き、12月6日には雲南市役所新庁舎を会場に、来春の桜まつりのイベントを企画運営する「うんなん若者会議」が開始した。
三高生も3名が参加した会議の最初は、NPO法人カタリバの生田さんからの「うんなん若者会議」の概要説明、雲南市役所の須山さんからは「雲南市桜まつり」の説明、NPO法人おうちラボの矢田さんからは学

校以外で学ぶことの意義についてお話が続いた。その後は、「場づくり」「医療」「食」「芸術」の4つのテーマに分かれてイベント内容を相談し、ポスターセッション(写真)での質疑をもとに再検討し、最後は速水雄一雲南市長の前にプレゼンテーションを行った。



心から溢れ出るアコーディオン、街、自スウェーデンの音楽性、この世界を愛する仲間が溢れ出るアコーディオン、街、自スウェーデンの音楽性、この世界を愛する仲間が

かとうかなこ&ヨールン・モンソン
「旅するクリスマスコンサート」で共演
(12/12、チェリヴァホール)
日本を代表するクロマチック・アコーディオン奏者かとうかなこ&北欧の笛の魔術師ヨールン・モンソン、そして百人の地元音楽隊による「旅するクリスマスコンサート」が12月12日(土)、JRM次駅前のチェリヴァホールで開演した。
翌13日には、益田市のグラントウで開催された全日本アンサンブルコンテスト島根県大会に、クラリネット四重奏と金管八重奏が参加。
校内では17日(木)の放課後、図書館でのクリスマス・ミニコンサートにも出演した。精力的な活動で、見る者・聴く者を元気にしてくれる吹奏楽部に拍手を贈りたい。

吹奏楽

放送

高見さん(アナ部門4位)で県大会へ進出
来年7月末からの全国高等学校総合文化祭松島大会につながる最初の閉門、標記松江地区予選には本校から2名が出場し、朗読部門の小澤星斗さん(1年)、アナウンス部門の高見ひのめさん(1年)がともに予選を突破して、12月の県大会進出を決めた。
また、県大会には秋の「掛合ふるさと祭り」を取材して制作した5分間のビデオ番組も出品する予定。地域の元気を伝える番組作りを今後も期待したい。

県総文祭放送部門松江地区予選

茶道

12/13

出雲学校茶道合同茶会

出雲和文化交流会・出雲文化伝承館が主催し、今年で13回目を迎えた標記合同茶会が今月13日(日)、出雲市浜町の出雲文化伝承館松籟亭で開催され、2年生部員2名が参加した。
出雲圏域の幼稚園児から大学生まで、流派や学校を超えて茶道で交流する場。三高生は落ち着いたお点前と、きちつとした立ち振る舞いで周囲の方々からお褒めの言葉をいただいた。わずか2名の部員は、いずれも兼部、そしてコンクールとは無縁の茶道部だが、本紙でも度々活動を紹介してきた。賞とは関係のない場面の文化部の活動にも注目してもらいたい。



人権週間を迎えて

人権週間とは
国際連合は世界
人権宣言が採択された12月10日を「人権デー」と定め、日本でも
昭和24年から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から10
日まで)を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚を図る
ため、全国各地でも集中的な啓発活動を行っています。

三刀屋高校ではその前後に

三刀屋高校では12月の人権週間に先だって、11月のLHR
で人権・同和教育の公開授業を実施しました。

【1年】...「**か**」が出来るようになると、どんな良いことがあるか?」...クラス全体で「できていること」と「できていないこと」を確認し、クラス全体で特にできるようになりたいことは何か考え、それが「できるようになると、どんな良いことがあるか?」を「K」法で探りました。

【2年】「教科書無償化への取り組み」
...教科書無償化のために動いた人々の姿を振り返りながら、憲法に保障された権利を獲得するために連帯した人々の取り組みが、社会全体の利益につながったことを理解し、人権を守るための主体的な態度や行動の大切さを学びました。

【3年】「結婚差別から考える」
...一学期の「公正な採用選考・公正な入学選抜」に続き、現実の社会に今なお残る結婚差別の具体的事例から、他人事ではなく、自分自身が問題に直面した時にどのような行動を取るべきかを考えました。

図書館では
(「図書館だより」今年度9号の一部を抜粋したものです。)

展示コーナーのご案内

ガラスケースで「人を思う心を育てよう」

～人の痛みや苦しみを自分のこととして考えてみませんか～

12月1日の世界エイズデー

世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。(厚生労働省HPより)に合わせて、薬害や輸血での感染など、エイズ関連の本でコーナーを作っています。

12月4日～10日は人権週間です。様々な人権について考えてもらいたくて、いろいろな本を用意しました。

どちらのテーマも決して他人事と思わず、正しく理解するために、手に取って、見て、読んで、考えてくれるとうれしいです。

*展示本よりおすすめの本

498-ヤ 知っていますか? AIDSと人権 一問一答【第3版】 屋敷恭一ほか著
まだ完全に撲滅されていない病気ではあるが、一問一答形式で私たちの疑問に答えてくれる。

726-七 あの子

ひぐち ともこさく・え 解放出版社

「あの子といっしょにおらんぼうがええで。あの子をめぐらうわさは、ちりぢりに広がっていく。理不尽なうわさを断つことはできるのか?

日常でよく見かける情景から噂が広がっていく過程の恐さを感じる事ができ、また、「本当にそうなのか」とその噂に問いかけることの大切さを感じることができる大人になる皆さんにこそ読んでほしい絵本。



館内では

11月30日に亡くなられた漫画家の水木しげる先生の追悼コーナーを作っています。たくさんのお書物がありますので、手に取って下さい。

保健委員会 三高エコキャップ運動

回収ペットボトルキャップ 15,267個 (11月11日調べ)
計算上、17人分のワクチン代になります

日	曜	学校行事等	部活等
1	金	元旦	
2	土		
3	日		
4	月	3年直前M模試	
5	火	3年直前M模試 閉寮	
6	水	3年冬期補習	
7	木	3年冬期補習	
8	金	始業式 課題テスト 学校評価(保護者回収)	
9	土	土曜補習 学校開放	バスケットボール 柔道
10	日	学校開放	バスケットボール 柔道
11	月	成人の日	バスケットボール
12	火		
13	水	人権同和教育SHR	
14	木	3年学年集会	
15	金	S.C	バレーボール
16	土	土曜補習 センター試験1日目	バレーボール 吹奏楽
17	日	センター試験2日目	バレーボール
18	月	センター試験自己採点 1・2年進研学力テスト	
19	火	2年進研学力テスト 3年特別授業~3/11	
20	水		
21	木		
22	金	第3回英検1次	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火	2・3年桐原小論文講演会	
27	水		
28	木		美術
29	金		美術
30	土	おろち模試 3年2次対策模試	
31	日		



日	曜	学校行事等	部活等
1	月	1年道徳教育 2年人権・同和教育講演会	
2	火		
3	水		
4	木		
5	金	第3回漢字検定	
6	土	土曜補習 3年2次対策模試	
7	日		
8	月		
9	火		
10	水	試験発表 6限授業	
11	木	建国記念の日	
12	金	閉寮	
13	土	学校開放 3年2次対策模試	
14	日	閉寮	



さんこう 三高91年物語

第19回 木次線と三高&雲南

宍道～木次間開通は1916年

木次～出雲三成間開通は1932年



木次線や存続問題に揺れる三江線の利用低迷を象徴する数値に「営業係数」があります。「100円の営業収入を得るのに、どれだけ営業費用を要するか」が営業係数です。分かりやすい数字ではありませんが、経営的には「意味が無い」と聞きます。収支係数が非常に悪くても、路線としての赤字額は微々たるものだったり、係数的には僅かな赤字でも赤字額は膨大なという例が普通であり、実は国鉄からJRになってからは線区別のまとまった形での公表はありません。JRに限らず公共交通では、「輸送密度」がその路線の実態をみる客観的な数字として、より重視されています。

前置きが長くなりましたが、一応の参考としてJR西日本の苦しい「営業係数」を紹介すると、
 ・三江線：265
 ・大系線：260
 ・木次線：254
 数字の通り、木次線にとつて三江線の存続問題は決して対岸の火事ではありません。しかもこの数字は、某ジャーナリストが2007年に出した数字で、この10年間で悪化していることが予想されます。
 本シリーズでは、木次線開業百年を迎える来年にかけ、何回か(不定期で)木次線の現状と課題、そして課題解決に向けた展望を探りたいと思います。

1932年1月通学状況調査(人)

計	下宿	寄宿舎	自宅		1年
			自動車	徒歩	
49	5	3	0	20	21
41	2	3	0	19	17
56	5	17	0	16	18
62	10	12	0	23	17
74	16	23	0	26	9
282	38	58	0	104	82

第一次世界大戦中の1916年(大正5年)、民営簸上鉄道の宍道・木次間が開業した。来年は百年を迎える。その後、6名の犠牲者をだした下久野トンネル等の難工事を経て1932年(昭和7年)に木次・出雲三成間が開通。1934年(昭和9年)に国鉄に移管して八川まで開通、翌1935年(昭和10年)に備後落合までの木次線81.9kmが全通した。
 出雲三成(現奥出雲町)まで開通する直前の通学状況は表のとおりだが、出雲三成まで開通して仁多郡方面からの遠距離通学が増えると、4年後の1936年調査では、寄宿舎生が58名から16名へ、下宿生が38名から14名まで激減した。木次線は、今も昔も通学の貴重な手段である。

何という事でしょう



魅惑の三高教員

ルワンダから帰ってきました

写真は亀尾先生ではありませんヨ

中曽拓人 実習教員着任しました

YOUは何しにアフリカ・ルワンダへ?

産休代替で本校に着任したばかりの中曽拓人実習教員は、もともと教員志望だったとのことだが、教員になる前にいったん幅広い見識を身につけたいと、英語の勉強も続けてJICA青年海外協力隊に応募して合格。

大学卒業後、約3か月の研修を経て今年の7月までの2年間、中央アフリカのルワンダの中高等学校で生徒や教員に理科の実験方法を教えてきた(専門は化学)。バイタリティ溢れる中曽先生から元気をもらってください!



理科の授業を通じて国際貢献の2年間を経験した中曽先生です。話を聞いてみませんか?

秋の鍵かけ甲子園2015

(自転車)



施錠不安は解消できたか? 三刀屋は第3位

安心・安全な社会を作るためにも

鳥根県警が呼びかけて昨年からはまった「鍵かけ甲子園」が今秋も開催され、参加32校中、平均施錠率99.8%で3位となった(二重ロック総台数84)。
 交通安全委員や生徒指導部による啓発活動により、最近是不施錠による呼び出しの校

内放送も耳にしなくなつた。何事も習慣になれば当たり前。状況として定着するもの。交通安全に関するマナー全般も、良い方向に向かつて欲しいと願う。



今年も本紙を愛読いただき、誠にありがとうございました。実りの秋は学校や地域でさまざまな行事が目白押しで、情報の収集・整理も大変もあつたかと思ひます。

うんなんメールマガジン第80号のコラムで、速水雄一雲南市長は、「チャレンジ」を目に見える形に」と題し、11月中の様々な市の取り組みを紹介しつつ、「いずれも盛会裡に開催されましたが、今後、こうした取り組みが市民の皆様にもっと見える形で開催されるのが大切です。」と綴られた。その姿勢や思いは学校についても同じです。そして、出来事・事実を羅列するだけでなく、各種行事については何故それが必要か、その目的が何かが伝わるような紙面を心掛けます。

(編集長記)